

コミセンだより

# おおべの里

05

MAY, 2026

ご来場、ありがとうございました！

## 第20回 桜つつみ早朝ウォーク



TOGETHER!

Create Bonds & Future of Obe.

みんなで創る おおべの絆 おおべの未来

## 第37回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」開催!

入場無料

俵万智さん、永田紅さん、小島ゆかりさんを迎え、「家族と短歌」をテーマに鼎談<sup>ていだん</sup>していただきます。  
無料のお茶席(先着150人)もご用意しています。ぜひご来場ください。

日時:5月9日(土)

13時00分から

場所:小野市うるおい交流館エクラ



たわら まち  
俵 万智さん



ながた こう  
永田 紅さん



こじま ゆかりさん

### ★(学校賞)

## 大部小学校

虫とりあみそつとかまえてひとふり  
オオクワガタがぼくの手の中  
なつやすみしゆくだいわらわらずあせつてる  
そんなぼくにまませつてる

大部小学校3年 小東 永翔さん

大部小学校3年 田中 証さん

大部小学校1年 城市 悠惺さん

### ★学生の部(佳作)

あつ、かたいこれはなにかな口の中  
ぼくのだいじなにゆうしだったよ

小野高等学校2年 神谷 実結さん

花火など見ていられないこの夏は  
ラムネ左手君の右手

大部小学校6年 河島 有汰さん

雷鳥と岩の模様がおんなじで  
あれもらいちようこれもらいちよう

### ★学生の部(優秀)

※学年は投稿時

大部地区受賞者紹介

第37回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」

祝

## 成人式実行委員を大募集!

20歳になる皆さん自身の手で、最高の思い出となる  
成人式をつくりませんか。

活動内容:成人式の企画と運営

活動時期:7月~式典(約7カ月)

対象:平成18年4月2日~

平成19年4月1日生まれの方

小野市に住民票があるか、

市内小・中学校出身の方

申込方法:右記 LINE 申込フォームから

お申し込みください。

申込締切:6月22日(月)



募集中!

## 大部地区現代セミナー

大部地区にお住まいの60歳以上の皆さん!

セミナーに参加して、心も身体もリフレッシュしましょう。

各戸配布している申込用紙にご記入の上、1,000円  
を添えてコミセンおおべまでお申し込みください。

締切:5月29日(金)

問合せ:コミセンおおべ

TEL63-6100



大部地区地域づくり協議会

地域元気アップ活動団体募集

大部地区地域づくり協議会は、地域において自  
主的に活動されている団体で、地域づくりに効果的  
であると思われる事業にかかる経費について支援  
します。詳しくは、コミセンおおべにお尋ねください。

問合せ:コミセンおおべ TEL63-6100

問合せ:成人式実行委員会事務局 (いきいき社会創造課)

TEL63-2445 ✉ikiiki@city.ono.hyogo.jp

令和8年度 大部地区ヒューマンライフ協議会  
役員・理事を紹介します。

(敬称略)

会 長	小林 紀由樹	高田町区長	副会長	井上 秀喜	鹿野町区長
監 事	藤原 隆	古川町区長	監 事	柳田 洋一	王子町区長
理 事	小林 智	喜多町区長	理 事	大西 玉樹	敷地町区長
理 事	岡田 雅弘	住永町区長	理 事	萩原 英夫	中島町区長
理 事	中尾 裕彦	広渡町区長	理 事	上月 孝男	民生児童委員
理 事	藤原 英博	民生児童委員	理 事	宮本 博幸	老人クラブ代表
理 事	阪田 明彦	旭丘中学校校長	理 事	吉岡 秀晃	大部小学校校長
理 事	長谷川 多恵	小野ひまわり こども園園長	理 事	吉岡 優	コミセンおおべ 所長

※役員・理事の皆様 1年間よろしくお願ひします。TEL63-6100 事務局 芝 由美子

【お知らせ】

日時 5月22日(金) 19:00~20:20 場所 小野市伝統産業会館

第1部 小野市人権教育研究協議会総会

第2部 研修 ビデオ「カンパニユラの夢」視聴 【テーマ】超高齢化社会とひきこもり「8050問題」



気になる～!

ちよっと気になる歴史秘話 14

小野市立好古館学芸員 山本 原也

実は、脇本遺跡を考えるうえで欠くことができない存在が雄略天皇です。雄略天皇は別名・大泊瀬幼武(おおはつせわかたける)というのですが、「はつせ」というのがまさしく脇本遺跡一帯の地名であり、この地に王宮「泊瀬朝倉宮(はつせあさくらのみや)」を営んだと考えられています。脇本遺跡で見つかった掘建柱建物は六世紀末〜七世紀初頭なので、雄略天皇が活躍した五世紀後半とは時期が異なりますが、この遺跡がのちの時代にも天皇の王宮として機能していた重要性を物語っています。

『宋書倭国伝』によると、武(雄略天皇)は宋の皇帝に次のような上表文を提出しています。

「封国(ほうこく)は偏遠で蕃の外にある。昔から祖禰(そでい)みずから甲冑を着て、山川を跋涉(ばっしょう)し、ほととずる暇さえなかった。東は毛人(関東・東北方西は衆夷(南九州の人)を服すること六十六国、渡って海北(朝鮮半島の人)を平らげること九十五国。」

書かれている内容をすべてそのまま信じるわけにはいきませんが、軍事力によって日本列島や朝鮮半島に影響力を高めようとしたことは史実だったのでしよう。実際、有力な王族・豪族を次々に殺害することによって、自らの地位や影響力を確立していきました。

島各地に影響力をおよぼした人物であることが分かります。

